

令和7年7月10日

大阪社体スポーツ専門学校専門学校  
校長 畑山雅史様

大阪社体スポーツ専門学校  
学校関係者評価委員会

令和6年度 学校関係者評価委員会 報告書

1. 評価者

令和6年度 大阪社体スポーツ専門学校 学校関係者評価委員

【委員名簿（敬称略・順序不同）】

名前	所属
櫻井 一郎	株式会社 ルネサンス
土森 慎治	株式会社 COSPA ウエルネス
坂口 一弥	株式会社 ヨーケン社
小林 茂樹	株式会社エヌ・エス・アイ
長友 操	大阪社体スポーツ専門学校 同窓会副会長

2. 評価期間

令和6年4月1日から令和7年3月31日

3. 委員会の開催状況

令和7年7月10日

4. 学校関係評価委員会報告

令和7年7月10日に開催された委員会において、大阪社体スポーツ専門学校 畑山校長より、令和6年度の業務について自己評価報告書に基づき報告を受け、評価内容の確認を行った。また、自己評価結果報告に基づき、評価委員が評価項目に対し、採点（4点満点）を行い、結果を示した。さらに、委員各位からの意見をとりまとめ報告書とする。

## 5. 自己評価採点結果（平均点）

	調査項目	自己採点結果	学校関係者評価結果
1	教育理念・目標	3.5	3.5
2	学校運営	3.4	3.4
3	教育活動	3.7	3.7
4	修学成果	3.5	3.6
5	学生支援	3.4	3.5
6	教育環境	3.3	3.3
7	学生の募集と受け入れ	3.0	3.0
8	財務	3.5	3.5
9	法令等の遵守	3.5	3.5
10	社会貢献	3.7	3.7

## 6. 意見

教育活動（カリキュラム内容の充実、科目間連携・人材育成（定期的な研修の実施）の取り組みは、改善が進んでおり、評価できる面が多いので、引き続き職業人教育の向上に取り組んでほしいと思います。また、特に学校運営の根幹とも言える教員の質の向上に注力することも重要と感じました。

就職については売り手市場で求人数も増え進路決定率が非常に好調であるとのことで望ましい結果であると評価できます。また、学生がインターンシップに参加したことが、就職につながるといったマッチング機能の改善に取り組んで頂いていますので、これからも継続してより優れた人材育成を目指してほしい。

インターンシップの事前準備として「レベルアップ研修」をカリキュラムに導入したことは評価できます。その中で、礼儀・作法・挨拶・時間厳守など社会人基礎力とコミュニケーション能力が向上しましたので、さらに質の高いマナー指導が出来ればと就職先が求める人材育成に合致すると考えます。インターンシップの受け入れ企業と学校との連携が取れていることも良い点であると思いましたが、企業からの学生評価を確認しましたら、受け入れ先のスタッフからの指導について、身に付いている学生と身に付いていない学生の差があるように感じます。事前の打ち合わせに工夫を行うことを検討してください。

今年度より入学した留学生について日頃の教育に苦慮させているようですが、卒業までしっかりサポートしてください。

スポーツ業界の人材育成を支える教育機関として、専門的な知識の指導と社会人基礎力を兼ね備えた人材の育成に今後も取り組み、大阪社体スポーツ専門学校が、益々発展することを祈念します。